

本年度の愛知県の（愛知県美術館ではなく）一大イベントである「あいちトリエンナーレ 2010」のプレスや関係者向けの内覧会が8月20日に行われました。



↑今回のシンボリックな作家、草間彌生の作品がロビーを華やかにしています

前日夜遅く、いや当日朝まで、様々な困難や混乱を乗り越え、信じられないようなスケジュールで展示作業が行われて、やっと内覧会を迎えることができました。

この「あいちトリエンナーレ 2010」は愛知県美術館の主催事業ではありませんが、展示会場の一部となっていることもあり、美術館の学芸員は総出でサポートにあたりました。



↑北京オリンピックの芸術監督として広く知られるようになった蔡國強の火薬で描かれた作品

中心となる現代美術展の展示は、それぞれの作家の力作揃いで、世界各地（24カ国）から来た作家たちの今の社会や世界あるいは人間を見つめることで創作された作品からは、芸術作品と呼ばれるものが単なる飾り物ではないことを感じさせてくれます。



↑芸術文化センターフォーラムには松井紫朗の巨大オブジェが出現

また美術館の枠を飛び出したものもあり、「あいちトリエンナーレ 2010」の会場は芸術文化センターのフォーラムや隣接するオアシス 2 1、名古屋市美術館、長者町あたりの街中、堀川沿いにある納屋橋会場と見所いっぱいです。21 日土曜日からは一般公開が始まります。是非お早めにお出かけください。

(ST)



↑ショップには普段以上に魅力的なグッズがいっぱいです